



ぶかぶか漂う
第40回

家族+バーバラ 長男に会いに行く



二月のバンコクでのイベント出展に続き、三月もバンコクへ出張に行きました。そのあとそのまま私は隣国マレーシアへ。マレーシアにある大学へ進学した長男に会いに。五月月ぶり。すぐ二人で夕食に行ったのですが、しゃべる、しゃべる。一緒に暮らしていた時には見られない饒舌ぶりに、私はきつと、にやにやしていました。

ちょうど大学のバレー部のトライアウトがあって、入部できることが決まったそう。大学外では、すでにクアラランプール日本人会のバレー部に入部していました。自分で問い合わせ、体験に行き、手続きをして。主に現地に駐在している日本人とその家族がメンバーなのですが、そのバレー部ではたまに飲み会もあるそうです。父親くらいの年齢の方の隣に座り、仕事の話聞かせてもらった。逆に「何の仕事がしたいの、どうしていききたいの？」などと質問されました。子供を持つ母親からは、「どうし

「バレーボール」をツールにすると、彼なりに考えたんじゃないかとも思っています。ブラジルにいた小学2年生の時は、サッカーに混じることで友達を作りました。もちろん純粋にバレーもしたいはず。やっと試合に出れるようになった中学三年生の時はコ罗纳で一度も試合が開催されず、悔しい経験をしていますから。

最後最後詐欺と呼ぶよ？

翌日には日本から家族が合流しました。夫、長女、次男。そしてばーばも！「海外に行けるのはこれが最後だと思うのよー」というばーば。確かタイに来た時も同じことを言っていました。最後最後詐欺(笑)。

子供たちが赤ん坊のころは子守りをしてくれたばーばですが、今はスマホの使い方をしょっちゅう孫に教わっています。最近では孫から「バーバラ」って呼ばれたりしていて、普通に返事しています。

てマレーシアにある大学を選んだの？」とか、駐在員の子本人からも相談されたりするそうです。

すべてがありがたい!!
長男はいわゆる「陽キャ」ではないので、授業以外は部屋にこもりきりではないかと心配していました。将来どうしていききたいのかは、本人も考えている最中だし、不安だと思うのですが、人と話すことによって、だんだんと考えがまとまってきたりするものですよね。視野も広がるし、いろいろな年代・立場の人と話す機会は貴重です。一人で海外にいることもあって、なおさら素直に話をしているんじゃないかなと思います。

大学の中にはまだ特別仲のいい友達はいないようですが、ホームルームなどないですから、彼の性格上、簡単ではないかと思っていました。それでもこれから大学の部活に参加するようになるので、よき出会いに期待しています。

さて、家族が揃ったところで長男に、大学や寮、よく行くスーパーなどを案内してもらいました。ほぼ自炊しているそうで、冷凍庫にはハンバーグの作り置きや鮭の切り身が入っていました。高校生の長女には、進学についてなんとなくアドバイスめいたことを話してくれていました。次男は常に長男の隣に陣取ってべったりでした。大人になったな。がんばってるな。たくましいな。

ばーばが先に涙ぐむもんで、私の涙はひっこみましたが。兄弟三人がじゃれ合う姿も久しぶりに見れて、幸せで充実した春休みになりました。

文・写真
小宮華寿子
二男一女の母で
編集者。「ブラジルの
手しごと」著。
ジュエリーと世界の手仕事ワーク
ショップの店「メルカジニョ」
(<https://mercadinho.net>)代表。



イラスト・
デザイン
寺沼麻美
切り絵作家、時々
デザイナー。「ゆ
らゆらゆるる北欧風手作りモビ
ール」(ネコ・パブリッシング)を監修。

